



文政四年辛未六月所蘭陀人持渡
駱駝之圖
 臺名カメル
 又トロメテリス

壯八歳北七歳

身は丈五九尺首より
 尾迄一丈三尺其形圓の
 こころく頭ハ羊ま似て
 項長く耳多ぬく
 肺ハ二ツの節あり
 背ハ肉峯出く
 鞭をおきたるが
 一日り
 百里の路を以て
 歩すふをかし
 千五百斤の重さを
 負つてよく水脈を
 走れい渴するをさく
 異國ハマの田をかひ並耕作の
 多きを以て足をニツテ折膝をひく
 多し荷を附乗る自由をなれ人世の
 重法希有の福歎あり
 世の舟ハ樂と駱駝と皆人の
 口小とさう怒みとぞめてくき

江南其唐主る

文政七年甲申年秋

江戸本町本町八丁目西國屋にてんせとみ

繪 木 林 治 板



岡安画

